



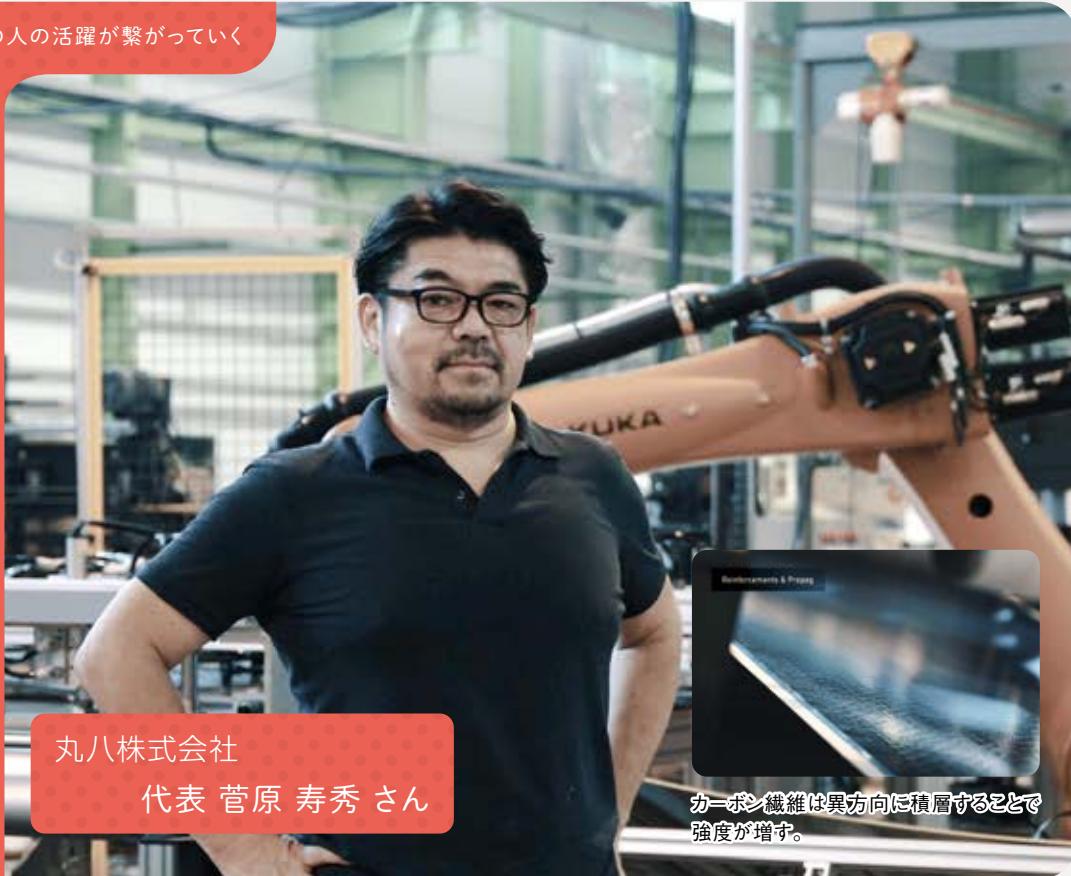
あの人、この人の活躍が繋がっていく

会員情報

POWERFUL MEMBERS

元気な やう

1936年の創業以来、福井の基幹産業である「繊維」を強みに、グローバルSME（中小企業）を目指して世界へ挑む丸八株。3代目の菅原寿秀社長に次代を見据えた取り組みについて伺った。



丸八株式会社

代表 菅原 寿秀 さん

カーボン繊維は異方向に積層することで強度が増す。



新たな研究・開発の基盤は、データの積み重ね。トライ＆エラーを重ねながら、10年単位の開発計画で未来を形にしていく。そこには、数値だけでなくスタッフの柔軟な発想とセンスも欠かせない。



HP

INFORMATION

所在地：
坂井市丸岡町玄女12-1
TEL:0776-67-0808

繊維機械・部品メーカーの丸八株はカーボン繊維を用いた製品を国内外へ展開している。カーボン繊維は自動車・電気機器など幅広い分野で利用されているが、菅原社長が注目したのは「航空・宇宙分野」だ。近年、世界的に宇宙開発への関心が高まり、各国がロケットの打ち上げ数増加を目指す中、その鍵となるのがコスト削減である。燃料の節約につながる軽量化は欠かせず、カーボン繊維は「高強度」と「軽量性」を兼ね備えた素材として高い親和性を持つ。同社は長年にわたる金沢工業大学との共同研究などで技術力を磨き、今年1月には、JAXAの「宇宙輸送機の革新的な軽量・高性能化及びコスト低減技術」に採択され、燃料タンクの実用化に向けた開発を進めている。

「これまでにない技術や製品を生み出すには、熱意とセンスが欠かせない」と菅原社長。新しい挑戦をともにする人材の採用にも力を入れている。ますます注目が高まる「航空・宇宙分野」で、丸八株は次のステージへと飛躍を続けていく。

宇宙へ挑む福井の繊維技術